

■令和4年度静岡大学防災総合センター研究会 プログラム (タイムテーブル) 令和4(2022).9.16 (Fri) /Zoomオンライン

▼発表時間は@7分【発表5分以内・質疑応答2分以内】

※備考欄は所属領域。融合G:融合グローバル領域。

No.	時間	所属	氏名	テーマ・内容	備考	
-	13:00 - 13:05	静大防災セ・センター長・教授	北村晃寿	開会あいさつ・年次報告〔センター長〕	理学領域	
1	13:05 - 13:12	静大防災セ・センター長・教授	北村晃寿	熱海土砂災害の科学研究	理学領域	
2	13:13 - 13:20	客員教授	石井輝秋	プチスポットパイプ掘削による新モホール計画：海洋マントル採取		
3	13:21 - 13:28	静大防災セ・副担当・教授	村越 真	自然災害の特性はどう認知されているか：三相因子分析による検討	教育学領域	
4	13:29 - 13:36	客員教授	石川有三	異常に長期な活動になった能登群発地震を色々な群発地震活動と比べる		
5	13:37 - 13:44	静大防災セ・副担当・教授	小山真人	県内火山の研究と防災に関する最近の進展	教育学領域	
6	13:45 - 13:52	客員教授	笠原順三	地震学的手法による地熱調査－秋田県大沼、澄川、北海道森、大分県滝上の例－		
7	13:53 - 14:00	静大防災セ・副担当・教授	前田恭伸	市民の社会参加へのコロナ禍の影響	工学領域	
8	14:01 - 14:08	客員教授	鈴木清史	パンデミックとマスク定着策－日米比較－		
-	14:08 - 14:25	休憩（時間調整）				
9	14:25 - 14:32	静大防災セ・副セ長・教授	牛山素行	最近の風水害調査から	融合G領域	
10	14:33 - 14:40	客員教授	土屋 智	宝永地震時の白鳥山崩壊地の富士川堰止め		
11	14:41 - 14:48	静大防災セ・副担当・講師	秋元菜摘	地域連携を意識した大学の防災教育の向上	情報学領域	
12	14:49 - 14:56	客員教授	林 拙郎	大規模崩壊に及ぼす地震動の影響		
13	14:57 - 15:04	静大防災セ・副担当・准教授	橋本 岳	高精度画像計測技術の防災研究への応用	工学領域	
14	15:05 - 15:12	客員教授	増田俊明	応力場での結晶の核形成		
15	15:13 - 15:20	静大防災セ・副担当・准教授	小杉素子	自然災害とパンデミック：人々の認知と態度	工学領域	
16	15:21 - 15:28	客員教授	増澤武弘	西伊豆安良里海岸と袋井海岸の防災・減災林について		
-	15:28 - 15:45	休憩（時間調整）				
17	15:45 - 15:52	静大防災セ・専任教員・准教授	原田賢治	津波遡上による堆積物形成における数値解析モデルの比較	融合G領域	
18	15:53 - 16:00	客員教授	森下祐一	防災における地質学：環境アセスの事例から		
19	16:01 - 16:08	静大防災セ・副担当・教授	木村浩之	温泉メタンによるエネルギー生産と災害時のライフライン供給	理学領域	
20	16:09 - 16:16	客員教授	渡辺俊樹	地震火山防災を目的として実施した（中の）地震観測と探査の紹介		
21	16:17 - 16:24	静大防災セ・副担当・准教授	生田領野	人工震源装置を用いた地下水変動のモニタリング	理学領域	
22	16:25 - 16:32	客員准教授	菅原大助	日本海溝北部・南部の津波堆積物および古津波履歴研究		
23	16:33 - 16:40	静大防災セ・副担当・准教授	石川宏之	伊豆半島ジオパークにおける大学関係者の役割と公学民連携のあり方	融合G領域	
24	16:41 - 16:48	客員教授	吉田明夫	箱根火山水蒸気噴火の予測		
-	16:49 - 16:50	静大防災セ・副セ長・教授	牛山素行	閉会あいさつ〔副センター長（研究部門長）〕		

📍19:00から北村センター長主催で「Zoom懇親会」を開催します。（参加任意）